



地域の課題分析ワークショップ

～問題分析ツールを使って～



2016年7月17日
神戸女子大学
貝増 匡俊

アジェンダ

- 自己紹介
- 関係者分析
- 問題分析
- 目的分析
- プロジェクト企画案作成

自己紹介

2001～2004年 JICAラオス事務所企画調査員

(南南協力)

2005～2008年 JICA業務調整員

(ラオス電力技術基準普及促進プロジェクト)

2008～2011年 JICA業務調整員

(インドネシア海上保安調整組織の体制強化プロジェクト)

2012～2014年 JICAスリランカ事務所企画調査員

(電力事情改善)

2014年～現在 神戸女子大学家政学部准教授

PCM手法

- PCM(プロジェクトサイクルマネジメント)手法とは、計画立案、実施、評価のサイクルをPDM(プロジェクトデザインマトリックス)を使って運営する手法。
- PCMは計画立案とモニタリング・評価の手法からなる。
- 計画立案手法では、参加型のワークショップを通じて、プロジェクトの計画立案を行う。

PCM手法(一例)

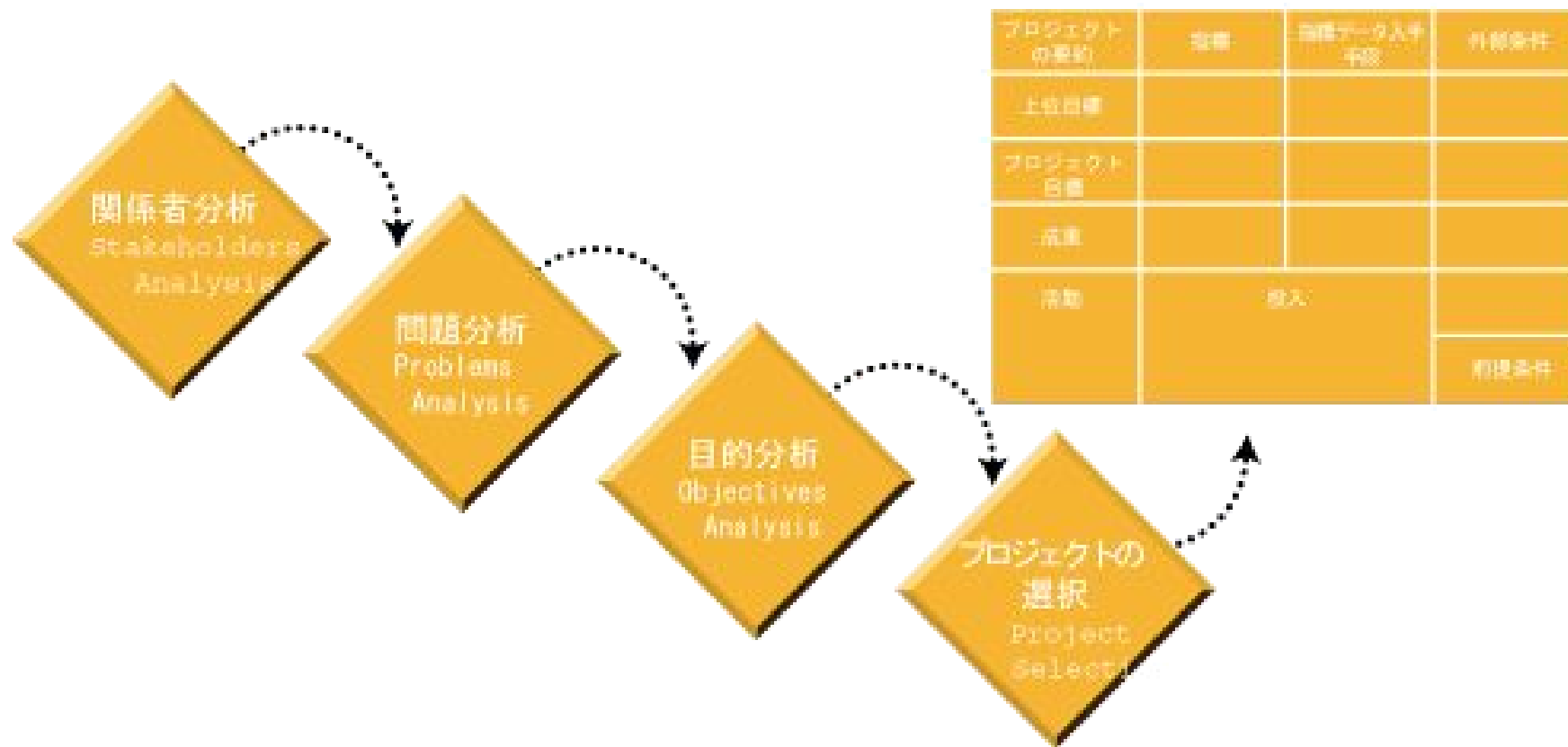
A国の高校における理数科教育向上プロジェクト

プロジェクトの要約	指標	入手手段	外的要因
上位目標			
A国において生徒の理数科科目の能力が向上する	全国学力テストの平均点が2010年度と比較し、30%上昇する	全国学力試験結果	
プロジェクト目標			
現職教員研修によりA国の高校における理数科教育が強化される。	授業評価アンケートで授業評価が平均3以上になる	授業アンケート集計結果	
成果			
1. 中央研修センターで、全国の理数科分野での研修指導員（教員）が養成される。 2. 全国的な教員研修システムが確立される。 3. 中央研修センター及び地方研修センターの役割が強化される。	成果1 養成した研修員数：100人 参加した研修員の満足度：80%以上が4以上	成果1 ・リスト ・研修最終試験	
活動			
成果1	投入		
1-1 理数科科目（物理、生物、化学、数学）の現職教員研修に関するカリキュラムが開発される。	日本側	A国側	
1-2 教材開発を行う。			
1-3 指導員研修を実施する			
2-1 地方研修指導員の養成を行い、中央研修を実施すると同時に、モニタリング・評価を行う。			
2-2			
3-1 トレーナーズトレイン（TOT）の実施			

PCMワークショップ

- 様々なステークホルダーが集まり、複数の参加者が意見を交換しながら、計画を作る。
- 参加型ワークショップのメリットとして
 1. 受益者のニーズに即した計画立案
 2. 受益者に当事者意識が育つ
 3. 事業の透明性が高まる

具体的なプロセス



出所: 外務省

ルール

- 自分の考えをカードに書き出す
- 1枚のカードには1つのことを書く
- 具体的な文章で表現する
- 簡潔に表現する
- 事実を書き、抽象論や一般論を避ける
- カードをボードから取り除くときはコンセンサスを
得てから、取り除く
- 誰が書いたかは問わない。

1. 関係者分析

手順(グループワーク)

1. 関係する人、個人、グループ、組織などをカードに書き出す
2. 書き出したカードを類別(実施者、意思決定者、協力者、出資者、受益者、顧客等)し、重要と思われる関係者を選ぶ
3. これらの関係者の分析を行う。(SWOT)
4. ターゲットグループを決める。

関係者の類別

種別	内 容
受益者	便益を受ける関係者
被害者	マイナスの影響を受ける関係者
決定者	物事を決定する関係者
潜在的反対者	反対、妨害が予想される関係者
協力者	プロジェクトの実施を支援する関係者

お題

奈良市内において
飲食サービスの情報が行き届かない。

関係者分析

1. どのような関係者がいるのでしょうか？
2. 重要と思われる関係者は誰でしょうか？
3. ターゲットグループは誰か？

2. 問題分析(問題カード)

- 否定的な内容を書く
- 1枚のカードには1つの問題
- 状態を示す文章にする

人材不足 → 運営管理できる職員がいない

- 「何々がない」という表現でなく
「ないために起こっている問題の状況」

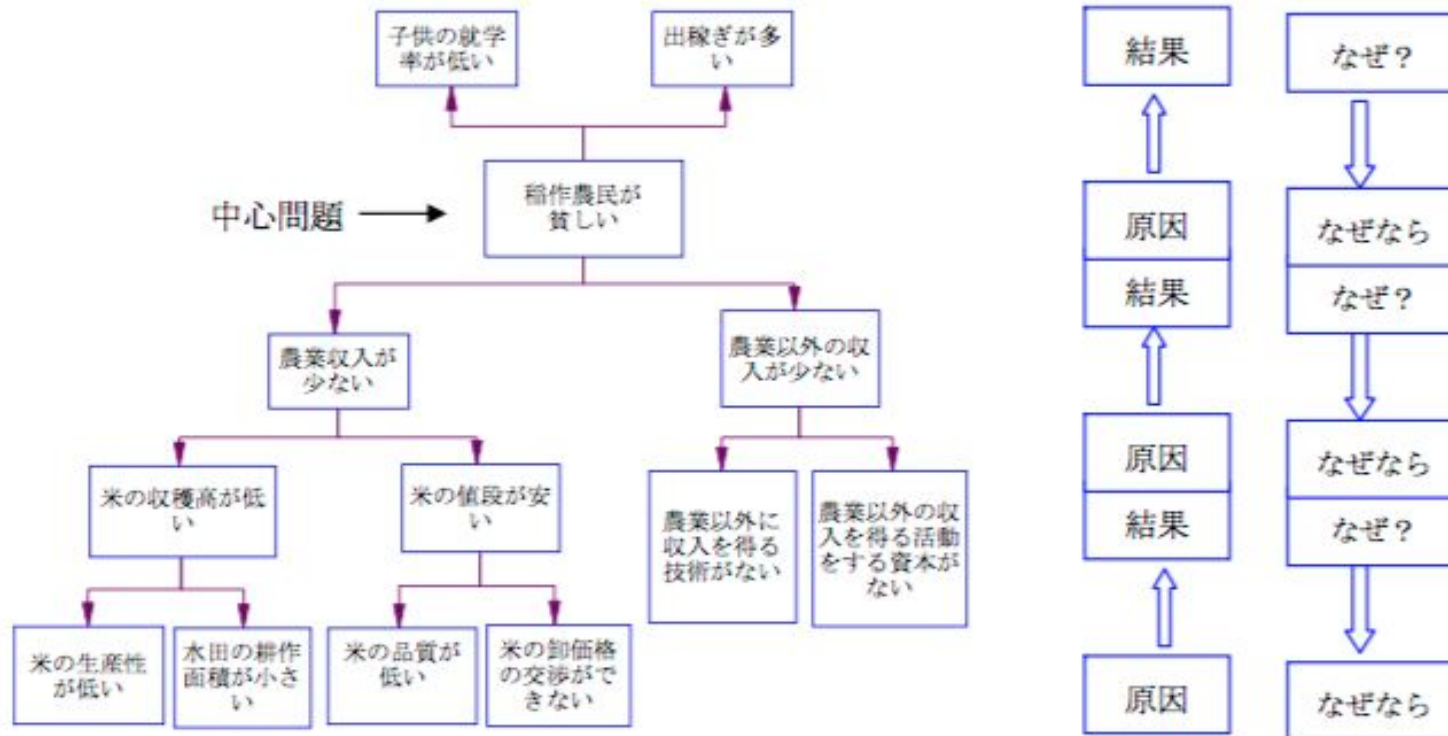
病院がない → 治療が受けられない

問題分析

- 各自でブレストしてカードに書き出す
- 各自の作業が終われば、グループワーク
- 中心問題を決める
- 中心問題の直接的な原因の問題を中心問題の下に置く
- 中心問題が原因となる問題は中心問題の上に置く
- カード間の因果関係を考え、カードをツリー状に配置する
- 問題のレベルは同一にする
- 必要に応じて、カードは追加してもよい
- 関係者分析で考えたことと中心問題の設定の仕方が適切だったのか振り返る。

問題ツリーの例

問題分析の例



出所: PCM Tokyoより

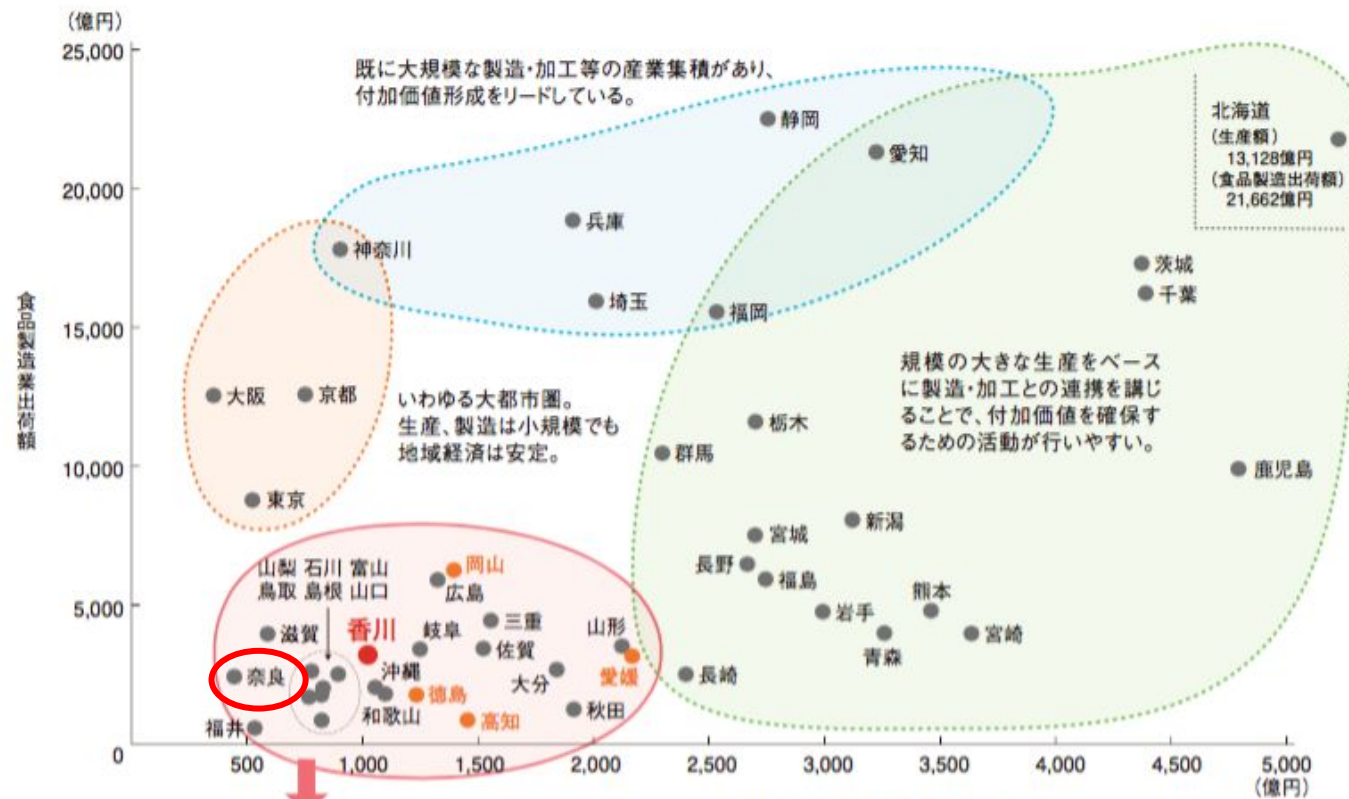
奈良県の飲食サービス現状

順位	都道府県	店舗数	
		総 数	人口10万人あたり
1	沖縄県	10,267軒	722.52軒
2	高知県	4,646軒	629.54軒
3	東京都	83,833軒	626.09軒
4	宮崎県	6,569軒	589.68軒
5	大阪府	50,913軒	576.20軒
6	山梨県	4,745軒	564.21軒
7	石川県	6,348軒	549.14軒
8	岐阜県	10,951軒	536.55軒
9	青森県	7,034軒	532.48軒
10	福井県	4,199軒	531.52軒
11	長野県	11,177軒	529.97軒
42	岡山県	7,468軒	388.15軒
43	神奈川県	34,637軒	380.79軒
44	千葉県	22,038軒	355.62軒
45	埼玉県	25,484軒	352.04軒
46	滋賀県	4,874軒	344.21軒
47	奈良県	4,489軒	326.24軒
	全国	619,711軒	487.64軒

出所：<http://todo-ran.com/t/kiji/13413>

食品生産と農業生産

● 食農連携等を講じるうえでの各地域の生産・製造の産業基盤と戦略の方向性



生産、製造ともに課題を抱えている。食農連携などによる地域の活性化には、他県にない独自性など差別化戦略が必要となる。

奈良県への流入観光客数の推移

種 別		H25年観光 入込客数(千人)	H26年観光 入込客数(千人)	増減 (千人)	増減率 (%)
一 般	宿 泊	1, 238	1, 333	95	7.67
	日 帰	11, 246	11, 281	35	0.31
	計	12, 484	12, 614	130	1.04
修学旅行	宿 泊	103	117	14	13.59
	日 帰	773	782	9	1.16
	計	876	899	23	2.63
外 国 人	宿 泊	75	111	36	48.00
	日 帰	360	519	159	44.17
	計	435	630	195	44.83
合計	宿 泊	1, 416	1, 561	145	10.24
	日 帰	12, 379	12, 582	203	1.64
	計	13, 795	14, 143	348	2.52

奈良市HPから

観光セクターの現状と課題

施策を取り巻く現状と課題

現 状

- 世界遺産をはじめとして、歴史・文化の豊富な観光資源を有しています。
- 魅力ある飲食店や買いたくなる土産物などが求められています。
- 統一的なプロモーション活動や効果的な情報発信が十分とは言えない状況です。
- 市民や事業者自身の本市の歴史的・文化的魅力への理解がより一層求められています。
- 駅の案内板やバスの路線系統、案内標識などの中に、主要観光施設への経路がわかりにくい部分があります。
- 観光シーズンには交通渋滞が慢性的に発生しています。
- 様々なニーズに対応できる宿泊施設が不足しています。

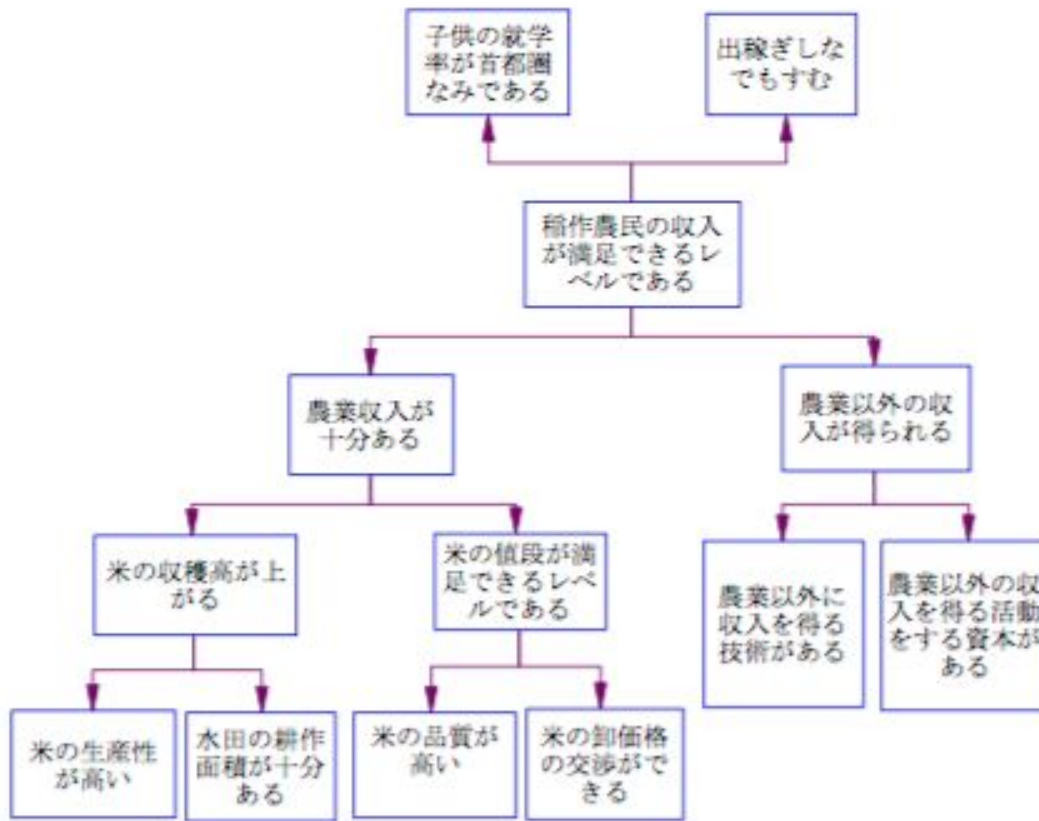
課 題

- 本市内での消費を進め、地域経済の振興につなげるための観光産業のビジネスモデルを構築する必要があります。
- 奈良がもつ自然、文化財、伝統芸能や町並みなど様々な資源の魅力を引き出し、観光資源として広く提供する必要があります。
- 効果的・統一的な情報発信や観光プロモーションの仕組みを整える必要があります。
- 案内板や案内標識などを点検し、改善を図る必要があります。
- 大規模なイベント・コンベンションや宿泊観光の需要に応えるため、宿泊施設を誘致する必要があります。
- もてなしの心を醸成する必要があります。

3. 目的分析

- 目的分析は問題が解決された望ましい状態とそれを導く手段(手段一目的)の関係を明らかにする。
- 問題カードの内容である否定から肯定に変える
- 肯定的な内容が本当に望ましいのか確認する。
- 目的分析系図を作成する

目的分析の例

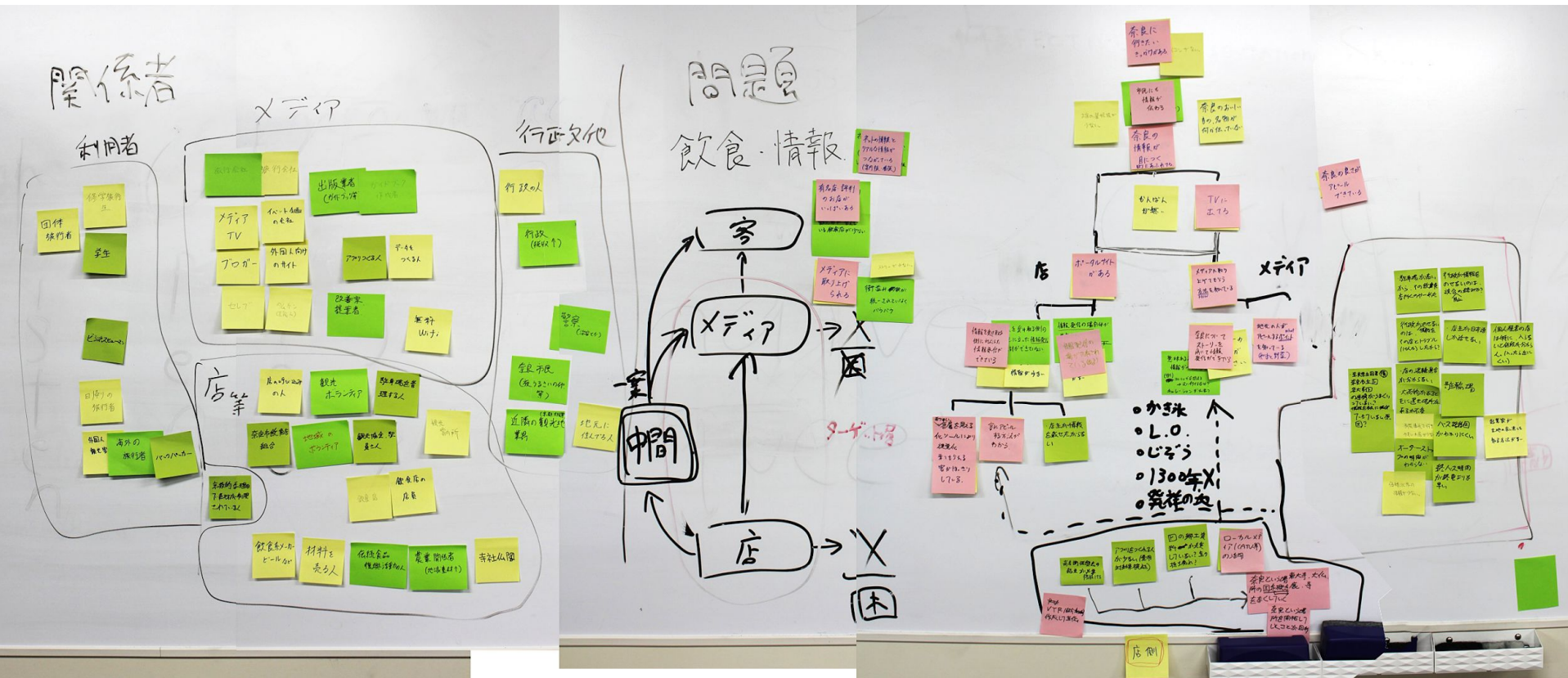


出所: PCM Tokyoより

4. プロジェクトの選択

- 目的分析系図の中でアプローチを線で囲み、どのような狙いがあるのか端的に名称をつける。
(プロジェクト案)
- 各アプローチで関係者分析で得たターゲットグループやその効果、あるいは実施可能かななどを議論し、複数の案の中から選定基準を決める。
- 選定基準に従って最も良いと思われるプロジェクトを決定する。

発表〈3班〉



発表〈4班〉



参考文献

- PCM Tokyo

<http://homepage3.nifty.com/pcm/public/PCM-Handbook-J0406.pdf>

- 外務省

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/edu/kyouzai/handbook/html/h20104_2.html

- 香川産業支援財団

<http://www.kagawa-isf.jp/jouhou/design/files/chapter2.pdf>

- 都道府県別統計とランキングで見る県民性

<http://todo-ran.com/t/kiji/13413>

- 奈良市観光入込客数調査報告

<http://www.city.nara.lg.jp/www/contents/1347582712483/files/H26.pdf>

- 奈良市第4次総合計画

<http://www.city.nara.lg.jp/www/contents/1311072037292/>

お疲れ様でした。

連絡先 : masatoshi.kaimasu@gmail.com